

**殺虫剤**

**ディアナ® SC**

スピネトラム…………… 11.7%

種類名/スピネトラム水和剤  
 農林水産省登録/第22910号(住友化学登録)  
 毒性/普通物\*  
 有効年限/3年  
 包装/(100ml×10)×6

**特 長**

- 幅広い殺虫スペクトラムを示します。  
 チョウ目害虫はもちろん、アザミウマ目害虫・ハエ目害虫に対しても防除効果を発揮するので、幅広い害虫の防除が可能です。
- 速やかな食害抑制効果を示します。  
 チョウ目害虫に対して、速やかな摂食阻害活性を發揮するので、被害の拡大(進展)を抑制します。
- ハマキムシ類に優れた効果を示します。  
 各発育ステージ(卵・幼虫・成虫)に高い効果を示しますので、散布適期が広く使いやすい薬剤です。
- 収穫(茶は摘採)前日まで使用が可能です。(キャベツは、収穫前日もしくは育苗期後半、稲は収穫7日前、らっきょうは収穫前日もしくは植付前まで)

**適用害虫と使用法**

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a 当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲	イネツトムシ コブノメイガ フタオビコヤガ ニカメイチュウ	4000～ 6000倍	60～150 ℓ	収穫 7日前まで	本剤 2回 スピネトラム剤 3回 [直播での種時 又は移植時までの 処理は1回、本 田での散布は2回]	散布
未成熟 とうもろこし	アワノメイガ オオタバコガ	2500～ 5000倍	100～300 ℓ	収穫前日 まで	本剤 2回 スピネトラム剤 2回	
トマト ミニトマト	コナジラミ類	2500倍				
	アザミウマ類 ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ トマトキバガ オオタバコガ	2500～ 5000倍				
なす	コナジラミ類	2500倍				
	アザミウマ類 ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ	2500～ 5000倍				
ピーマン	コナジラミ類	2500倍				
	アザミウマ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍				
とうがらし類 しよくようほおすき	アザミウマ類	2500倍				
だいこん	キスジノミハムシ	2500～ 5000倍				
	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ウワバ類 カブラハバチ ハモグリバエ類					

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a 当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
は く さ い	アザミウマ類 コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ウワバ類 オオタバコガ	2500～ 5000倍	100～300 ℓ	収穫前日 まで	本剤 2回 スピネトラム剤 3回 〔定植時までの処理 は1回、定植後の 散布は2回〕	散布
ブロッコリー	アザミウマ類 コナガ シロイチモジヨトウ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ウワバ類 オオタバコガ					
キ ャ ベ ッ	アザミウマ類 コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ウワバ類 オオタバコガ ハモグリバエ類					
	アザミウマ類	50～ 200倍	セル成型育苗 トレイ1箱又は ペーパーポット 1冊(30×60cm・ 使用土壌約3～4ℓ) 当り0.5ℓ	育苗期後半	本剤 1回 スピネトラム剤 3回 〔定植時までの処理 は1回、定植後の 散布は2回〕	灌注
な ば な 類	アザミウマ類 コナガ ハスモンヨトウ ハクサイダニ	2500～ 5000倍	100～300 ℓ	収穫前日 まで	本剤 2回 スピネトラム剤 2回  本剤 2回 スピネトラム剤 3回 〔定植時までの処理 は1回、定植後の 散布は2回〕	散布
か ぶ	コナガ ハスモンヨトウ アオムシ					
カリフラワー	コナガ アザミウマ類 アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ					
非結球あぶらな 科葉菜類(ごまっ な、チンゲンサイ、 なばな類を除く)	アザミウマ類 コナガ ハスモンヨトウ					
こ ま つ な	コナガ ハスモンヨトウ アザミウマ類 アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ					

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a 当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
チンゲンサイ	アザミウマ類 コナガ ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ	2500～ 5000倍	100～300 ℓ	収穫前日 まで	本剤 2回 スピネトラム剤 2回	散布
とうがん	アザミウマ類	2500倍				
メロウ きゅうり	コナジラミ類	2500～ 5000倍				
	アザミウマ類 ハモグリバエ類 ウリノメイガ					
すいか	コナジラミ類	2500倍				
	アザミウマ類 オオタバコガ ウリノメイガ ハスモンヨトウ					
かぼちゃ	ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍				
たまねぎ	アザミウマ類 ネギハモグリバエ ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ					
	葉たまねぎ					
ねぎ	アザミウマ類 シロイチモジヨトウ ネギハモグリバエ ネギコガ					
らっきょう	ネダニ類	2500倍	—	植付前	本剤 1回 スピネトラム剤 3回 〔種球浸漬は1回、 散布は2回〕	30分間 種球浸漬
	アザミウマ類 ハモグリバエ類	2500～ 5000倍	100～300 ℓ	収穫前日 まで	本剤 2回 スピネトラム剤 3回 〔種球浸漬は1回、 散布は2回〕	散布
にんにく にら(花茎)	アザミウマ類					
にら	ネギコガ	2500倍				
	アザミウマ類	2500～ 5000倍				
しゅんぎく	アザミウマ類 オオタバコガ ハウサイダニ ハスモンヨトウ ハモグリバエ類					
	レタス 非結球レタス	ハモグリバエ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ アザミウマ類				
セルリー	ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍				
にんじん	ハスモンヨトウ					

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a 当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
いちご	アザミウマ類 ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍	100～300 ℓ	収穫前日 まで	本剤 2回 スピネトラム剤 2回	散布
	コナジラミ類 クロバネキノコバエ類	2500倍				
ほうれんそう	アザミウマ類 ハスモンヨトウ シロオビノメイガ ハクサイダニ ハモグリバエ類	2500～ 5000倍				
	ホウレンソウケナガコナダニ	2500倍				
つるむらさき	ハスモンヨトウ					
ばれいしょ	ハスモンヨトウ					
さといも	ハスモンヨトウ セスジスズメ	2500～ 5000倍				
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ					
	ヒルガオハモグリガ	2500倍				
豆類 (未成熟、但し、さや いんげんを除く) 豆類 (種実、但し、だいず、 あずき、らっかせい を除く)	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アザミウマ類					
さやいんげん	アザミウマ類 ハモグリバエ類 アズキノメイガ ハスモンヨトウ	2500～ 5000倍				
だいず	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アザミウマ類 マメシンクイガ					
あずき	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アザミウマ類					
	アズキノメイガ	2500～ 7500倍				
アスバラガス	コナジラミ類	2500倍	100～500 ℓ			
	アザミウマ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ ジュウシホシクビナガハムシ	2500～ 5000倍				
食用ぎく きく(葉)	アザミウマ類 オオタバコガ ハモグリバエ類		100～300 ℓ			
食用ミニバラ	コナジラミ類	2500倍				
	アザミウマ類 オオタバコガ	2500～ 5000倍				
てんさい	ヨトウムシ シロオビノメイガ	5000～ 7500倍				

(つづく)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a 当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
茶	チャノキイロアザミウマ チャノコカクモンハマキ チャノホソガ チャハマキ ヨモギエダシヤク チャトゲコナジラミ ニトベミノガ	2500～ 5000倍	200～400 ℓ	摘採 前日まで	本剤 1回 スピネトラム剤 1回	散布
花き類・観葉植物 (りんどうを除く)	アザミウマ類 オオタバコガ ハモグリバエ類 イラクサギンウワバ	2500倍	100～300 ℓ	発生初期	本剤 2回 スピネトラム剤 2回	
	コナジラミ類 クロバネキノコバエ類					
りんどう	アザミウマ類 オオタバコガ ハモグリバエ類 イラクサギンウワバ リンドウホソハマキ	2500～ 5000倍				
	コナジラミ類 クロバネキノコバエ類	2500倍				
わ た	アザミウマ類	2500～ 5000倍				
	オオタバコガ					
樹木類	ハマキムシ類	2500～ 5000倍	200～700 ℓ			

### 使用にあたって

#### ■使用上の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 間引き菜、つまみ菜に使用しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ①ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。
  - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
  - ③関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

#### ■蚕 毒

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。桑葉にかかった場合には使用後約1ヶ月間は蚕に給餌しないでください。

#### ■水産動植物への注意

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

### ■安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。



- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

### ■貯蔵上の注意

- 密栓し、直射日光をさけ、食品と区別してなるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2023年7月5日現在の登録内容に基づいています。